私たちが考える、学会参加・ブース出展における「患者会・七箇条」

一、 個人の治療相談や未承認薬の質問は控えましょう

二、 医療者の時間を尊重し節度あるブース対応をしましょう

三、 服装は「スマートカジュアル」を選びましょう

四、 学会発表データのSNS等への掲載は厳禁です

五、 会場内の「立ち入り許可エリア」を事前に確認しましょう

六、 すべての医療関係者・参加者へ、敬意を持った対応をしましょう

七、 出展ブース同士の「横のつながり」と協調を大切にしましょう

Copyright (C) 2026 ASrid. All Rights Reserved

一、 個人の治療相談や未承認薬の質問は控えましょう

学会は「公的な研究発表・討論の場」であり、個人の診療所やカウンセリングルームではありません。先生方も、カルテや検査結果を見ない状態での医療判断（セカンドオピニオンに類する行為）は倫理的・法律的にできません。
「私の場合はどうですか？」ではなく、「〇〇（疾患名）の治療選択において、当事者の間ではこのような課題（悩み）がありますが、医療界全体としてはどのようなアプローチが考えられますか？」など、主語を「個人」から「患者コミュニティ・一般論」に翻訳して質問するのがプロフェッショナルな振る舞いです。

二、 医療者の時間を尊重し、節度あるブース対応をしましょう

先生方は非常にタイトなスケジュール（自身の発表、座長、他のセッションの拝聴など）で動いています。ブースに先生が来られた際は、嬉しくても長話で引き留めすぎないよう注意しましょう。また、製薬企業や医療機関には非常に厳しいコンプライアンス（利害関係者からの物品授受の禁止）ルールがあるため、お菓子やお土産などの品物は、かえって先生方を困らせてしまいます。これらのお心遣いは一律で辞退する（渡さない）のがルールです。

Copyright (C) 2026 ASrid. All Rights Reserved

三、 服装は「スマートカジュアル」を選びましょう

学会はビジネスや学術のオフィシャルな場です。ラフすぎる服装（ジーンズにサンダル、過度な露出）や、逆にフォーマルすぎる豪華な服装は浮いてしまいます。ジャケットやブラウスを着用した「スマートカジュアル」が基本です。また、会場内は想像以上に広く、時として固い床の上を一日中歩き回ります。足元の怪我や疲労を防ぐため、歩き慣れた靴（華美でないスニーカーなど）でお越しください。

四、 学会発表データのSNS等への掲載は厳禁です

学会で発表されるデータには、まだ論文化されていない研究段階の情報や、特許申請中の内容、患者の個人情報に配慮されたスライドが多数含まれます。スライドやポスターを無断で撮影すること、またその内容をSNSにアップすることは重大な著作権・倫理違反となります。「〇〇学会に来ています！」といった会場の雰囲気の投稿は歓迎されますが、発表内容を無断で公開することのないよう、また発表データ（スライド・ポスター）が写り込まないよう、細心の注意を払いましょう。

Copyright (C) 2026 ASrid. All Rights Reserved

五、 会場内の「立ち入り許可エリア」を事前に確認しましょう

学会会場内には、会員（医師・医療従事者など）しか入れないエリア（一部の特定のセッション、企業展示エリアの一部など）や、参加証の種別によって制限があるエリアが設定されています。学会ごとに、また開催場所や年度によってもルールが異なりますので、「入ってもよい場所」と「制限エリア」を、受付や事前の案内、会場内のサインボードで必ず確認した上で行動しましょう。

六、 すべての医療関係者・参加者へ、敬意を持った対応をしましょう

学会には、患者会として親しくされている先生に加え、普段なかなか接する機会のない高名な先生や、初対面の若手医師、他職種のスタッフ、他団体の担当者など、どのような相手であってもフラットに、丁寧な言葉遣いと挨拶を心がけましょう。患者会として品格のある真摯な対応を示すことは、結果として「患者・市民参画（PPIE）」の価値を高め、その後の協力関係を強く築くための最大の土台になります。

Copyright (C) 2026 ASrid. All Rights Reserved

七、 出展ブース同士の「横のつながり」と協調を大切にしましょう

患者会ブースエリアは、ライバル関係ではなく「難病やがんなど、疾患の未来を共につくる仲間たち」が集う場所です。お互いの出展活動や資材の配布状況を尊重し、情報交換を積極的に行いましょう。お互いのブースに挨拶に行き、困ったときには助け合える「横の連帯」を示すことで、学会全体における患者会エリアのプレゼンス（存在感）と一体感が一気に高まります。また、次の学会参加に向け、他のブースの良いところを大いに参考にし、コツを積極的に聞きましょう。

学会への参加は、医療に関わるさまざまな方々と出会い、未来を共に作っていく貴重なきっかけになります。
みなさん一人ひとりの行動が、患者会全体の大きな信頼を育てます。
お互いを尊重し、楽しく学び合いながら、実り豊かな活動につなげていきましょう。

July, 2026
Naomi Sakurai (CANSOL) / Yukiko Nishimura (ASrid)
Acknowledgement: CMT patient group / Shun Emoto
contact@asrid.org

Copyright (C) 2026 ASrid. All Rights Reserved